

令和元年度 第1回市政モニターアンケート 「富士宮市の農業」の集計結果について

(1) アンケート実施の理由

富士宮市では、地産地消(富士宮で生産した農産物を富士宮で消費すること。)を推進しています。

今回、富士宮市民の農業に対する意識や消費者としての意識を伺うため、このアンケートを行いました。

(2) アンケートの主な意見

※詳細は、別紙のとおり

・「富士宮の名産物・特産物がわからない」

野菜や果物の生産が「ある程度は生産されている」も含め、8割以上の「生産されている」との意見がありましたが、「特に富士宮産という農産物が思い浮かばない」、「これぞ富士宮の野菜というものがない」などの答えが並びました。

その一方で、「富士宮といえば、焼きそばとニジマス」という意見が多数あり、想定していたよりもニジマスの認知度が高いことがわかりました。

どの農産物を富士宮の「名産物」「特産物」として定めていくのか検討する必要があることを改めて感じました。

・「農業・農産物の情報がほしい」

「富士宮産の野菜の調理方法を知りたい」「富士宮産の農産物は、安全でおいしいということをみんなに知ってほしい」「イベントを開催してPRしてほしい」といった意見が多数あり、富士宮産の農産物に対する市民の愛着を醸成し、関心を高めていくために、もっとPRする必要があることがわかりました。

・「農業への意識を高めるためには、幼い時からの体験が効果的」

「農業体験の機会を作ってほしい」「自身の経験から体験したことはずっと覚えている」といった意見では、実体験による感動はずっと心に残るため特に子どもたちが農業体験をできるような機会を設けてほしいといった意見多くあることがわかりました。

アンケートの意見をまとめる中で、富士宮産の農産物を市民がもっと身近に感じられるような取り組みを検討し、PRしていくことが必要だと認識できました。

アンケートの意見まとめの様子

